# ２０２６年　新年のご挨拶

一般社団法人滋賀県トラック協会
会　長　　松　田　　直　樹

あけまして、おめでとうございます。

昨年、国内では４月から大阪万博が開催され、１０月には女性として初めて高市総理大臣が誕生するなど、我が国の歴史に残る一年となりました。経済面においては、半導体関連を中心とした株価の好調が見られたものの、物価高騰、異常気象に伴う災害の頻発、さらに未だ収束の兆しが見えないウクライナ情勢など、経済活動を停滞させる要因が山積している状況であります。

そのような中、我々の運送業界では、国民生活と産業活動を支える公共的物流サービスの担い手として、社会との共存を図るため、積極的な事故防止対策や環境対策に取り組むとともに、災害時には緊急物資輸送の中心的な役割を担うなどエッセンシャル事業として、国民や荷主のニーズに応え、我が国の経済活動に貢献をしているところであります。

一方で軽油価格の高止まり、車両価格等の高騰にあって価格転嫁が進まない状況等から、事業存続の危機に直面しています。

民間のシンクタンクの試算では何も対策をとらなければ２０３０年には３４％の輸送力が不足するとされています。

また、「許可の更新制の導入」「適正原価を下回る運賃料金の制限」「委託次数の制限」「違法な白トラに係る荷主等の取り締まり」を内容とする改正貨物自動車運送事業法とそれを担保するための新法が成立しました。

滋賀県トラック協会と致しましても、新しい法律への対応、更に全日本トラック協会と連携を図り、車両技術委員会を立ち上げ、車両価格並びに整備費の高騰、新車・整備後車両納期の長期化、サイバーセキュリティ問題並びに大型車車輪脱落事故防止を含めた様々な問題に対応したいと思います。更に、ドライバーの安全と健康を守り、カスタマーハラスメントによる精神的被害を防ぐ事を目的とした取り組みも実施します。

労働環境改善対策については、荷主各位の理解を求めるべく、労働局、国土交通省、公正取引委員会の協力のもとセミナー、研修会等を開催して参ります。

会員サービスの充実としては、各種助成金や新しい法律への対策並びに適正化調査員とトラック・物流Ｇメンによる協力体制強化を目指します。

その他、業界のイメージダウンにつながっている飲酒運転撲滅、黄金のペットボトルを含むごみのポイ捨て禁止の啓発等、我々業界が自ら襟を正していくための事業も昨年に引き続き進めていく考えでおります。

本年も我々業界が創意工夫を重ねることにより、ドライバーの社会的評価の向上は元より、運送業界全体の社会的地位の向上を目指したいと思います。

つきましては、滋賀県トラック協会として、会員の皆様にご協力をいただき、業界全体が一丸となって事業運営に取り組んでいかなければなりません。

業界発展のため努力して参りますので、会員の皆様には益々のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げ、２０２６年の新年のご挨拶と致します。